第 282 回競技委員会議事録

1. 日　　時：2023 年 4 月 5 日（水）18 時 00 分～ 20 時 00 分
2. 会　　場：連盟本部事務局
3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 13、定足数 9、出席 13（内委任状 2）で成立。
寺本直志委員長、ロバート・ゲラー、斉藤千鶴乃、桜井雅子、浅越ことみ、
吉田正、山後秀幸、仲村篤志、正村祐一
Zoom で出席：山田和彦競技会事業担当業務執行理事、石橋瑞己
委任状：林伸之、久富健史
オブザーバー：貴戸祥郎

4. 議事の経過及び結果：寺本直志委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案　各委員のワーキンググループの配置について

〇マスターポイントに関するワーキンググループ
仲村篤志（グループ長）、山後秀幸、寺本直志、正村祐一

〇コンベンション・アラートに関するワーキンググループ
吉田正（グループ長）、浅越ことみ、石橋瑞己、寺本直志、林伸之、久富健史、
ロバート・ゲラー、貴戸祥郎

〇競技会運営規則・試合要項に関するワーキンググループ
山後秀幸（グループ長）、浅越ことみ、ロバート・ゲラー、桜井雅子、寺本直志、
仲村篤志、吉田正

〇リジョナルの試合環境に関するワーキンググループ
斉藤千鶴乃（グループ長）、寺本直志、ロバート・ゲラー、桜井雅子、山後秀幸、
小池和人、小池紀彰

第 2 号議案　クラブディレクター承認の報告

松尾恵智子	218689	C-01220	東京都
石川加代子	178473	C-01221	東京都
今井玲子	225636	C-01222	東京都

第 3 号議案　競技会運営規則改定の報告

事務局より、ボード・ア・マッチチーム戦におけるアベレージプラスの変更を反映した競技会運営規則改定案の提出があり、これを承認した。

第 4 号議案　マスターポイント規則改定の報告

事務局より、ペア戦における代理プレイヤのマスターポイントについて追記したマスターポイント規則改定案の提出があり、これを承認した。

第 5 号議案　横浜市長杯名称変更について

横浜 BC 主催の横浜市長杯の名称を「横浜マリンリジョナル」に変更する旨の報告があった。

第 6 号議案　ヒューストントライアルに替わる採点方式について

ヒューストントライアルに替わるペア戦の新採点方式について提案があり内容を審議した。

・IMP 値をラウンドまたは対戦毎に VP に変換するペア戦
・IMP 値は他の全てのテーブルのスコアと比較して IMP を計算し、その平均値とする
・IMP スコアリングと違い、IMP の上限は定めない（VP に変換されるため）
・IMP スコアリングと違い、アベレージプラスマイナスは 3IMP とする
・ヒューストントライアルと違い、比較テーブルから最高スコアと最低スコアの除外は行わない

審議の結果、採点方式としては妥当な内容であることを確認し、クラブがこれを要項で定めて実施することは構わないこととした。また現状ヒューストントライアルペアまたはスイスペアを行っているクラブの意見を確認し、今後実施するデータと合わせ、ヒューストントライアルペアの置き換えを行うかどうか検討する。

第 7 号議案　トライアルのダブルラウンドロビンについて

ダブルラウンドロビンにより VP を計算して行っているトライアル予選を、シングルラウンドロビンで VP を付けるように変更するという提案があり審議した。審議の結果、現状通り変更しないこととした。

第 8 号議案　撮影に関する規定について

競技会での写真・ビデオ撮影と使用について、普及目的以外にも運営上必要なものについて可能であることを明記すべきと意見があった。現行の文章でも問題ないという意見もあったが、より適切な文章になるよう顧問弁護士に確認して修正することとした。

第 9 号議案　その他議案

柳谷杯の運営について意見交換を行った。

次回競技委員会は 2023 年 7 月 5 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

以　上